

札幌丘珠空港ビル株式会社  
平成29年度 経営情報  
(平成30年3月末日現在)

1 事業者の概要及び事業の概況

(1) 基本的事項

|       |  |
|-------|--|
| 商号    | 札幌丘珠空港ビル株式会社<br>Sapporo Okadama Airport Building Co.,Ltd |
| 所在地   | 札幌市東区丘珠町丘珠空港内  |
| 設立年月日 | 平成2年5月23日  |
| 資本金   | 4億9,800万円  |

(2) 事業者が行う事業の内容

① 主な事業

- ・ 貸室業及び空港利用施設の賃貸業
- ・ 航空事業者、航空旅客及び航空貨物に対する役務の提供

② 附帯事業

- ・ 食品・清涼飲料・煙草・旅行用品及び観光土産品の販売
- ・ 旅客及び送迎客に対して、見学・送迎施設や待合室の提供、その他サービスの提供
- ・ 広告宣伝業

(3) 役員の地位、氏名及び重要な兼職の状況

第28期事業報告書(P5「取締役及び監査役」)に記載のとおりです。

(4) 事業の概況

第28期事業報告書(P1「事業の概況」)に記載のとおりです。

2 第28期事業報告書

(1) 事業の概況 (P1～P3)

(2) 会社概要 (P4～P5)

(3) 計算書類等 (P6～P9)

3 設備の状況

(1) 既存設備の状況 (単位:千円)

| 設備の内容 | 帳簿価格    |        |        |     | 合計      |
|-------|---------|--------|--------|-----|---------|
|       | 建物      | 建物付属設備 | 器具備品   | その他 |         |
| 旅客ビル  | 394,130 | 77,570 | 10,372 |     | 482,072 |

(2) 設備の新設・除去等の計画

今期は、空き事務室の新規テナント入居に伴う事務所改修工事等を実施した結果、総額4,424千円の建設改良事業を行いました。

# 事業報告

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

## I 事業の概況

### 1 事業の経過及び成果

我が国の経済は、企業の収益や雇用環境の改善により、景気は、緩やかな回復が継続しております。

こうした中、航空業界は、訪日外国人旅行者が堅調に推移したことに伴い、国際線が好調を維持し、LCCの台頭により国内線の需要回復が見られたところであります。

当空港においては、HAC（株北海道エアシステム）のJAL便化に伴う販路拡大をはじめ、継続的な安定運航により乗降客数が順調に推移したこと、また、FDA（株フジドリームエアラインズ）の静岡線毎日1往復の運航（前年度は、週2日1往復運航：共に夏ダイヤ期間）により、年間乗降客数は、250,968人となり、対前年度比37,001人の増（17.3%増）、搭乗率76.3%（4.7ポイント増）と大きく増加いたしました。

#### 【路線別 乗降客数】

| 路線      |         | 乗降客数（人） |         |          | 搭乗率（%） |        |             |
|---------|---------|---------|---------|----------|--------|--------|-------------|
|         |         | 平成29年度  | 平成28年度  | 対前年度比（%） | 平成29年度 | 平成28年度 | 対前年度比（ポイント） |
| HAC     | 函館      | 113,335 | 102,809 | 10.2     | 79.1   | 74.4   | 4.7         |
|         | 釧路      | 72,623  | 72,193  | 0.6      | 76.0   | 72.4   | 3.6         |
|         | 利尻      | 21,779  | 19,411  | 12.2     | 78.9   | 71.8   | 7.1         |
|         | 三沢（八戸）  | 15,107  | 14,000  | 7.9      | 62.5   | 54.9   | 2.5         |
|         | 定期便計    | 222,844 | 208,413 | 6.9      | 76.7   | 71.8   | 4.9         |
| FDA     | 静岡      | 26,509  | 5,530   | 379.4    | 73.8   | 68.0   | 5.9         |
|         | 定期便計    | 26,509  | 5,530   | 379.4    | 73.8   | 68.0   | 5.9         |
| 定期便計    |         | 249,353 | 213,943 | 16.6     | 76.4   | 71.7   | 4.7         |
| HAC     | 出雲      | —       | 24      | —        | —      | 66.7   | —           |
|         | チャーター便計 | —       | 24      | —        | —      | 66.7   | —           |
| FDA     | 名古屋（小牧） | 1,379   | —       | —        | 74.6   | —      | —           |
|         | 庄内      | 40      | —       | —        | 47.6   | —      | —           |
|         | 新潟      | 40      | —       | —        | 47.6   | —      | —           |
|         | 広島      | 156     | —       | —        | 92.9   | —      | —           |
|         | チャーター便計 | 1,615   | —       | —        | 73.9   | —      | —           |
| チャーター便計 |         | 1,615   | 24      | —        | 73.9   | 66.7   | 7.2         |
| 合計      |         | 250,968 | 213,967 | 17.3     | 76.3   | 71.7   | 4.7         |

|          |        |        |     |      |      |     |
|----------|--------|--------|-----|------|------|-----|
| 参考：函館⇄奥尻 | 10,745 | 10,270 | 4.6 | 45.0 | 41.9 | 3.1 |
|----------|--------|--------|-----|------|------|-----|

## 2 経営状況

営業収益については、直営物販店の増収により、売上高は176,393千円（対前年度比3.9%増）を計上した結果、売上原価を含めた売上総利益は、148,042千円（対前年度比±0.0%）となりました。

営業費用では、前年の固定資産取得にかかる減価償却費の増加及び日中時間帯の追加警備に伴う委託費が増加しましたが、建物等火災保険の見直し及び不要不急の費用削減の結果、134,366千円（対前年度比0.6%減）となり、営業利益金額は、13,676千円、経常利益金額は、16,396千円、当期純利益金額は、10,451千円となりました。

資金の状況については、空き事務室の新規テナント入居に伴う事務所改修工事等を実施した結果、現預金は、291,479千円（対前年度比27,133千円・10.3%増）となったところであります。

## 3 今後対処すべき課題

当空港にとっては、HAC及びFDAの安定運航及び利用促進が必要不可欠であり、今後もHAC（JAL含む）、FDAのエアライン及び北海道、札幌市、更には丘珠空港利用者利便向上協議会と連携を深めて、空港の利用促進を図って参ります。

特に、FDA（JALコードシェア便）の静岡線は、定期便となり3年目を迎えること、また平成30年8月8日から8月31日までの間、FDAによる松本線が、新規に運航（開設）されることから、札幌や北海道内の観光振興だけでなく、HAC（JAL便）の各路線への乗継ぎ等による相乗効果が見込まれる等、今後の丘珠空港の更なる活用について、空港関係者等と連携して、利用促進に努めて参ります。

また、当空港ビルは、平成4年の開業から26年が経過し、建物の保全費用増が見込まれるほか、更には、バリアフリー計画に伴う改修工事に向けて着手して参りますので、当社の経営は、今後も厳しい状況が見込まれることから、更なる費用の削減を図るとともに、直営売店の売上収入及び広告収入、賃貸収入の増加に努め、経営の安定化を図って参ります。

乗降客以外の集客対策として引き続き、産直市及びロビーコンサート、各種講座や、きつずわ〜く（小学生対象の空港お仕事体験）をはじめ、各種イベントを継続して開催することで、当空港をより身近に感じてもらい、理解や関心を高めてもらうよう引き続き取り組んで参ります。

一方、北海道と札幌市が進めている丘珠空港の利活用に関する検討会議は、道民、有識者及び関係者が幅広く議論できるよう、ケーススタディ（事例研究）として報告書に取りまとめられたところであり、今後、更に議論を深めていくために、様々な関係者と連携して参ることとし、また、北海道内7空港の一括民間委託については、募集要項が公表され、SPC（特定目的会社）の動向等が見えてくることから、情報収集に努める等、引き続き調査検討を進めて参ります。

#### 4 設備投資の状況及び資金調達状況

今期は、空き事務室の新規テナント入居に伴う事務所改修工事等を実施した結果、総額 4,424 千円の建設改良事業を行いました。

なお、この資金は、全額自己資金をもって充当いたしました。

#### 5 入居者（平成 30 年 3 月 31 日現在）

- ① 航空会社
  - 株式会社北海道エアシステム（HAC）
  - 株式会社フジドリームエアラインズ（FDA）
- ② 飲食店
  - 丘珠キッチン（株式会社スコット）
- ③ 物販店
  - スカイショップおかだま（当社直営店）
- ④ レンタカー
  - 株式会社トヨタレンタリース札幌
  - 株式会社日産カーレンタルソリューション
  - 三愛自動車工業株式会社
  - オリックス自動車株式会社
  - 株式会社ワズネットワーク
  - 株式会社トヨタレンタリース新札幌
- ⑤ その他
  - 札幌市
  - 北海道札幌方面東警察署丘珠空港警備派出所
  - 国際航空給油株式会社
  - 株式会社ジーエム北都
  - 株式会社日本空港コンサルタンツ
  - 共立航空撮影株式会社
  - タイムズ 24 株式会社

## 6 業績の推移

単位 千円

| 回 次                       | 第 25 期           | 第 26 期           | 第 27 期           | 第 28 期<br>(当 期)    |
|---------------------------|------------------|------------------|------------------|--------------------|
| 決 算 年 月                   | 平成27年3月          | 平成28年3月          | 平成29年3月          | 平成30年3月            |
| 売 上 高                     | 153,094          | 166,849          | 169,746          | 176,393            |
| 営 業 利 益 金 額               | 3,779            | 21,214           | 12,920           | 13,676             |
| 経 常 利 益 金 額               | 4,790            | 22,391           | 16,814           | 16,396             |
| 当 期 純 利 益 金 額             | 4,078            | 8,457            | 5,270            | 10,451             |
| 一 株 当 たり<br>当 期 純 利 益 金 額 | 409 <sup>円</sup> | 849 <sup>円</sup> | 529 <sup>円</sup> | 1,049 <sup>円</sup> |
| 総 資 産                     | 750,990          | 788,727          | 790,458          | 787,114            |
| 純 資 産                     | 693,699          | 702,157          | 707,426          | 717,877            |

記載金額は、千円未満を端数処理しております。

## II 会社概要 (平成30年3月31日現在)

### 1 主要な事業内容

貸室並びに空港利用施設の賃貸業、航空事業者及び航空旅客に対する役務の提供等

### 2 株式の状況

- (1) 会社が発行する株式の総数 34,320 株  
 (2) 発行済株式の総数 9,960 株  
 (3) 当期末株主数 10 名

### 3 株主の状況

| 株 主 名          | 株 数(株) | 持株比率(%) | 株主に対する出資 |
|----------------|--------|---------|----------|
| 札 幌 市          | 2,600  | 26.11   | 0        |
| ANAホールディングス(株) | 2,500  | 25.10   | 0        |
| 北 海 道          | 1,300  | 13.05   | 0        |
| (株)日本政策投資銀行    | 1,300  | 13.05   | 0        |
| 札幌商工会議所        | 862    | 8.66    | 0        |
| (株)北洋銀行        | 498    | 5.00    | 0        |
| (株)北海道銀行       | 450    | 4.52    | 0        |
| 北海道電力(株)       | 200    | 2.01    | 0        |
| 北栄保険サービス(株)    | 150    | 1.50    | 0        |
| 北海道瓦斯(株)       | 100    | 1.00    | 0        |

#### 4 取締役及び監査役

| 役職名     | 氏名    | 摘要                     |
|---------|-------|------------------------|
| 代表取締役社長 | 吉岡 亨  | 札幌市副市長                 |
| 常務取締役   | 橋 俊明  |                        |
| 取締役     | 中田 雅幸 | 札幌市まちづくり政策局都市計画担当局長    |
| 同       | 阿部 浩文 | 北海道総合政策部航空局長           |
| 同       | 坂本 成次 | (株)日本政策投資銀行北海道支店次長     |
| 同       | 廣田 恭一 | 札幌商工会議所専務理事            |
| 同       | 郷 雄司  | (株)北洋銀行公務金融部長          |
| 同       | 大木 孝志 | (株)北海道銀行常務執行役員本店営業部本店長 |
| 同       | 藪下 裕己 | 北海道電力(株)取締役常務執行役員      |
| 同       | 末長 守人 | 北海道瓦斯(株)取締役常務執行役員      |
| 監査役     | 佐藤 馨一 | 北海道大学名誉教授              |
| 同       | 高野 一夫 | 高野公認会計士事務所 公認会計士 税理士   |

当期中の退任取締役

取締役 佐藤 達也 (平成29年6月16日退任)

取締役 西山 健介 (平成29年6月16日退任)

取締役 古郡 宏章 (平成29年6月16日退任)

取締役 土谷 浩昭 (平成29年6月16日退任)

#### 5 主要な借入先・借入残額等

なし

#### 6 従業員の状況

単位 人

| 男・女別及び人員 |   |
|----------|---|
| 男性       | 1 |
| 女性       | 1 |
| 合計       | 2 |

(注) 上記には、嘱託社員(1人)及びパート社員(4人)は、含まれておりません。

# 貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位 円)

| 資産の部          |                    | 負債の部            |                    |
|---------------|--------------------|-----------------|--------------------|
| 科目            | 金額                 | 科目              | 金額                 |
| <b>流動資産</b>   | <b>300,733,824</b> | <b>流動負債</b>     | <b>36,530,594</b>  |
| 現金及び預金        | 291,479,458        | 未払金             | 15,090,956         |
| 商品            | 1,747,919          | 未払法人税等          | 5,469,500          |
| 前払金           | 51,970             | 前受金             | 8,376,967          |
| 未収入金          | 7,454,477          | 預り金             | 408,617            |
|               |                    | 賞与引当金           | 869,854            |
|               |                    | 未払消費税           | 6,314,700          |
| <b>固定資産</b>   | <b>486,380,600</b> | <b>固定負債</b>     | <b>32,706,447</b>  |
| <b>有形固定資産</b> | <b>482,072,533</b> | 預り敷金・保証金        | 14,006,000         |
| 建物            | 394,129,952        | 退職給付引当金         | 18,700,447         |
| 建物付属設備        | 77,570,226         |                 |                    |
| 工具器具備品        | 10,372,355         |                 |                    |
| <b>無形固定資産</b> | <b>3,984,167</b>   | <b>負債合計</b>     | <b>69,237,041</b>  |
| 電話加入権         | 218,400            | <b>純資産の部</b>    |                    |
| ソフトウェア        | 3,765,767          | <b>株主資本</b>     | <b>717,877,383</b> |
| <b>投資等</b>    | <b>323,900</b>     | <b>資本金</b>      | <b>498,000,000</b> |
| 保険積立金         | 22,400             | <b>利益剰余金</b>    | <b>219,877,383</b> |
| 保証金           | 301,500            | <b>利益準備金</b>    | <b>15,000,000</b>  |
|               |                    | <b>その他利益剰余金</b> | <b>204,877,383</b> |
|               |                    | 別途積立金           | 100,000,000        |
|               |                    | 建設積立金           | 35,000,000         |
|               |                    | 繰越利益剰余金         | 69,877,383         |
|               |                    | <b>純資産合計</b>    | <b>717,877,383</b> |
| <b>資産合計</b>   | <b>787,114,424</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>787,114,424</b> |

# 損 益 計 算 書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

(単位 円)

| 科 目  | 金 額                                    | 金 額         |
|--|--|-------------|
| 売 上 高<br>賃 貸 収 入<br>附 帯 事 業 収 入<br>商 品 売 上           | 130,408,536<br>8,150,768<br>37,833,422 | 176,392,726 |
| 売 上 原 価<br>期 首 商 品 棚 卸 高<br>商 品 仕 入<br>期 末 商 品 棚 卸 高 | 1,585,131<br>28,513,794<br>1,747,919   | 28,351,006  |
| 売 上 総 利 益  |  | 148,041,720 |
| 営 業 費 及 び 一 般 管 理 費                                  |  | 134,365,582 |
| 営 業 利 益 金 額  |  | 13,676,138  |
| 営 業 外 収 益<br>受 取 利 息<br>雑 収 入                        | 2,005<br>2,931,553                     | 2,933,558   |
| 営 業 外 費 用<br>雑 損 失                                   | 213,406                                | 213,406     |
| 経 常 利 益 金 額  |  | 16,396,290  |
| 税 引 前 当 期 純 利 益 金 額                                  |  | 16,396,290  |
| 法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税                              |  | 5,945,106   |
| 当 期 純 利 益 金 額  |  | 10,451,184  |

# 株主資本等変動計算書

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日

(単位 千円)

| 項 目              | 株 主 資 本 |           |                 |           |               |           |           | 純 資 産 計 |
|------------------|---------|-----------|-----------------|-----------|---------------|-----------|-----------|---------|
|                  | 資 本 金   | 利 益 剰 余 金 |                 |           |               |           | 株 主 資 本 計 |         |
|                  |         | 利 準 備 金   | そ の 他 利 益 剰 余 金 |           |               | 利 剰 余 金 計 |           |         |
|                  |         |           | 別 積 立 金         | 途 建 積 立 金 | 繰 越 利 益 剰 余 金 |           |           |         |
| 前期末残高            | 498,000 | 15,000    | 100,000         | 35,000    | 59,426        | 209,426   | 707,426   | 707,426 |
| 当期変動額            |         |           |                 |           |               |           |           |         |
| 剰余金から<br>準備金へ振替  |         |           |                 |           | 0             |           |           |         |
| 剰余金の内訳<br>科目間の振替 |         |           |                 |           | 0             |           |           |         |
| 当期純利益金額          |         |           |                 |           | 10,451        | 10,451    | 10,451    | 10,451  |
| 当期変動額合計          |         |           |                 |           | 10,451        | 10,451    | 10,451    | 10,451  |
| 当期末残高            | 498,000 | 15,000    | 100,000         | 35,000    | 69,877        | 219,877   | 717,877   | 717,877 |

# 個 別 注 記 表

## 1 重要な会計方針に係る事項

### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品 最終仕入原価法による原価法によっております。

### (2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産 定額法によっております。

② 無形固定資産 定額法によっております。

### (3) 重要な引当金の計算基準

① 退職給付引当金 従業員の退職金支給に備えるため、退職金支給規則に基づき、当期末における退職金要支給額の当期分を計上しております。

② 賞与引当金 従業員に対する賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

(4) 消費税の会計処理 税抜き方式によっております。

(5) リース取引の処理方法 ファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

## 2 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 会社が発行する株式の総数 34,320 株

(2) 発行済株式の総数 9,960 株

## 3 その他の注記

有形固定資産の減価償却累計額 906,627 千円